

白ネギ6月どり新品種‘羽緑2号一本太’

1 新しい品種の内容

(1) 背景・目的

弓浜砂畑地域の6月どりトンネル作型は、‘羽緑一本太’、‘初夏一文字’が栽培されている。‘羽緑一本太’は抽台が少ないが、葉鞘の肥大が悪く、萎凋病が多い、‘初夏一文字’は多収であるが、地上部病害に弱く、年次により抽台が多発する、といった問題がある。そこで、6月どりトンネル作型における新品種を選定した。併せて無トンネル作型での適性を評価をしたので紹介する。

(2) 品種‘羽緑2号一本太’の特性

- ・6月どりトンネルおよび無トンネル作型に適する。

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
トンネル	—————★					■ ■ ■				○	△	★—
無トンネル						■ ■				○	△	

○: 播種、△: 定植、■: 収穫、★—★: トンネル被覆

- ・晩抽性は、‘羽緑一本太’（強）と‘初夏一文字’（弱）の間
- ・萎凋病の発生は、‘羽緑一本太’より少なく、‘初夏一文字’と同程度
- ・地上部病害の発生は、‘初夏一文字’より少なく、‘羽緑一本太’と同程度
- ・上物収量は、‘羽緑一本太’より多収、‘初夏一文字’より調整1本重は軽い、抽台でのロスが少なく、同程度の上物収量が得られる

2 試験成果の概要

(1) トンネル作型

2019年は、9月26日播種、11月26日定植、被覆期間12月10日～3月25日、5月27日収穫で、2020年は、9月26日播種、11月26日定植、被覆期間12月16日～3月17日、5月26日収穫で、3品種の栽培比較を行った。播種は200穴セルトレイに4粒/穴とし、定植は条間1m、植付間隔10cmとした。

‘羽緑2号一本太’の上物収量は、2019年は‘初夏一文字’に次いで多く、2020年は最も多収であった（表1）。抽台率は、‘羽緑一本太’よりやや高く、‘初夏一文字’より低かった（表1）。草姿は、‘羽緑一本太’と同様に、草丈が高く、葉鞘が伸長する特性がみられた（表2）。‘羽緑2号一本太’は収穫期後半でも萎凋病株率は低く（図1）、地上部の病害発生程度は、‘初夏一文字’より少なく、‘羽緑一本太’と同程度だった（表3）。

(2) 無トンネル作型

2020年10月1日播種、12月2日定植、翌年6月8日収穫で2品種の栽培比較を行った。播種は200穴セルトレイに4粒/穴とし、定植は条間1m、植付間隔10cmとした。

‘羽緑2号一本太’は、‘初夏一文字’に比べ、肥大はやや劣ったが、抽台率が低かったことから、上物収量は同等の約130箱/aが得られた（表4）。このことから、無トンネル作型でも利用できると考えられた。

表1 トンネル作型における各品種の上物収量と抽台率

試験年次	品 種	上物収量					抽台率 (%)
		本数 (本/a)	重量 (kg/a)	調整1本重 (g/本)	2L率 (%)	出荷箱数 (3kg・箱/a)	
2019	羽緑2号一本太	3,700	469.5	126.9	17.8	127.8	5.2
	羽緑一本太	3,000	374.5	124.8	22.2	103.8	1.1
	初夏一文字	3,567	482.5	135.3	32.2	133.9	6.7
2020	羽緑2号一本太	3,867	563.3	145.7	50.9	154.9	3.3
	羽緑一本太	3,783	507.5	134.2	29.9	139.8	0.8
	初夏一文字	3,433	536.0	156.1	60.2	146.7	15.4

表2 収穫時の草姿

2020年5月26日調査

品 種	草丈 (cm)	葉鞘長 (cm)	最大葉長 (cm)	葉鞘径 (mm)	葉枚数 (枚)	一本生重 (g/本)
羽緑2号一本太	94.5	45.1	49.6	1.9	4.7	241.6
羽緑一本太	97.2	44.9	52.5	1.9	4.5	234.1
初夏一文字	90.4	43.2	48.3	1.9	4.9	254.8

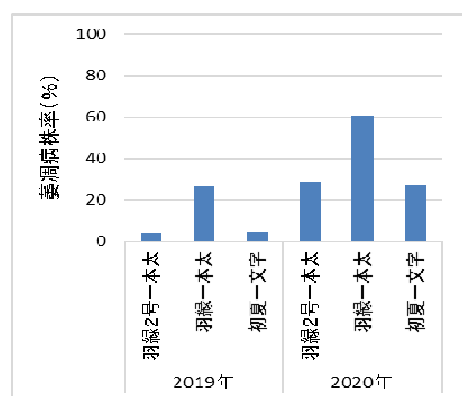


図1 萎凋病株率

2019年6月11日、2020年6月16日に調査した

表3 栽培期間中の病害発生程度(達観調査)

品 種	2019年		2020年	
	べと病	さび病	べと病	小菌核腐敗病
羽緑2号一本太	中程度	中程度	中程度	中程度
羽緑一本太	中程度	中程度	中程度	中程度
初夏一文字	多い	多い	中程度	多い

表4 無トンネル作型における各品種の上物収量と抽台率

試験年次	品 種	上物収量					抽台率 (%)
		本数 (本/a)	重量 (kg/a)	調整1本重 (g/本)	2L率 (%)	出荷箱数 (3kg・箱/a)	
2020	羽緑2号一本太	3,850	460.0	119.5	13.6	128.9	2.9
	初夏一文字	3,550	485.1	136.6	37.0	133.7	10.4

3 本品種の利用上の留意点

- (1) 本試験は、弓浜砂丘地域（砂丘未熟土）における試験結果であり、他の地域（土壌）については別途検討が必要である。
- (2) 6月どりトンネル作型および無トンネル作型では、ネギの葉鞘に空洞が生じるが、本品種は空洞がやや大きくなることもある（出荷品質に支障はない）。
- (3) 収穫時期が遅れると、葉鞘が伸長し『棒ネギ』になるので注意が必要である。

4 試験担当者

弓浜砂丘地分場 主任研究員 井上 浩
研究員 梶本悠介